

## OBペンククラブのOBたち

池田 隆

OBペンククラブから2025年度の入退会者リストが送られて来た。逝去者以外にも親しかった方々が大勢退会している。老齢や病など様々な事情が有ったのだろう。寂しさが募る一方で、愉快だった思い出と顔が一人ずつ湧いてきた。

大越さん…「何でも書こう会」の名司会者、社会の裏表に精通した反骨・反権威主義者、毒舌の批評家、酒屋料理の達人、ジャズ評論家、晩年は土偶や縄文文化に強い興味を抱いていた。気も合い、最高にユニークで楽しい友人だった。

平尾さん…OBペンククラブの事務局長を長い期間務めた。振舞いと文章力は軽妙洒脱。二次会・三次会の後に同じ電車で帰宅しながらよく話をした。退会前はやや呆け始めていたが、実存哲学などに造詣が深かったなあ！

三春さん…ロシア語科と落研の出身で幅広い人脈を持ち、社会事情に詳しく、酒に滅法強い。機知とウィットに富んだ文章は他者の追従を許さない本会看板のマドンナだった。フォト句会では私と彼女だけが度々同じ作品に評点を入れていた。感性が少し似ていたのかな？

大月さん…寡黙・温厚・篤実の代名詞のような人物。民俗学関連書籍や古典に通じ、とくに江戸期の菅江真澄に対する愛着は凄かった。蕎麦屋で作り方を教わったジャガ芋膾は私の好物になっている。

浜田さん…博学にして凝り性、筆致流麗な文を認める。浜田、平尾、三春、私の四人で対馬旅行に出掛けたことがある。ツシマヤネコや金田城址に対する彼の思い入れと好奇心の強さにはレンタカー運転手として参った。

児玉さん…時々わが家に会社の若手連中を招いていた頃に彼も来た。上司不満の受け皿は妻の役目だった。後年に妻曰く「児玉くんが定年過ぎまで会社で我慢できるとは思えなかったわ」 この世には会社以上に我慢出来なくなったのだろう。

さらに松谷さん、内藤さん、塚田さん、田原さん、小寺さん、首藤さん、斎藤さん、大泉さん、上原さん、…と想いが続く。

次の会は彼岸の蕎麦屋か酒場でも結構、また誘ってください。